



リージョンマトリクスの更新

リージョンテーブルには物理的な場所が定義されているのに対し、リージョンマトリクステーブルにはリージョン内 (intra) およびリージョン間 (inter) で使用可能な帯域幅が定義されています。BAT の [リージョンマトリクス] メニューを使用して、リージョンマトリクスを実装または実装解除します。

リージョンマトリクスの実装および実装解除

リージョンマトリクスのデータを実装または実装解除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Bulk Administration] > [リージョンマトリクス] > [リージョンマトリクスの実装 / 実装解除] の順に選択します。[リージョンマトリクス設定] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [リージョンマトリクスオプション] セクションで、実行する操作に応じて [リージョンマトリクスの実装] または [リージョンマトリクスの実装解除] を選択します。
- ステップ 3** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションに、ジョブの名前を入力します。この名前で実行するジョブを識別できます。
- ステップ 4** ジョブを実行する時期に応じて、[今すぐ実行] または [後で実行] を選択します。
- ステップ 5** [送信] ボタンをクリックします。
- ステップ 6** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを表示して、送信したジョブのステータスを確認します。このウィンドウでは、必要に応じてジョブのスケジュールを変更できます。



(注) 他の BAT プロセスとは異なり、リージョンマトリクスの実装または実装解除ジョブの進行状況は、レコードが通過したか、失敗したか、または処理済みかに関しては測定できません。結果は、プロセス全体が完了した後にのみ確認できます。



(注) レコード数の基準は、このトランザクションには適用されません。

管理者は、リージョン帯域幅のデフォルト値を変更できますが、BAT メニューから実行することはできません。



(注) リージョン帯域幅のデフォルト値にアクセスするには、Cisco Unified CallManager で [システム] > [サービスパラメータ] を選択します。パラメータタイプに Cisco CallManager を指定します。対象の 4 つのパラメータは、[Clusterwide Parameters (System - Location and Region)] セクション内にあります。



(注) その他の BAT 機能の詳細については、『Cisco Unified CallManager Bulk Administration ガイド 5.0(4)』を参照してください。
